

ミクロン精密 株式会社

2010年11月期 決算説明資料

◆本資料は投資を勧誘、推奨するものではありません。この情報に基づいての投資判断は、個人の責任において行ってください。

会社概要



- ◇事業内容 : 心なし研削盤(センタレスグラインダ)
内面研削盤(インターナルグラインダ)
その周辺装置の製造、販売
- ◇社 是 : 技術と人柄
- ◇社員数(連結) : 208名
- ◇平均年齢(単体) : 39.5歳
- ◇業績(連結) : 売上高: 2,028百万円
2010年11月期 経常損失: 102百万円
(第51期) 当期純損失: 106百万円



柄 欠 磨 鑽 技 【技術と人柄】

技術の研鑽と人柄の醸成を
通じた社会貢献と人格育成

当社の歴史



2010	● 2011/01 タイ王国バンコクに合併会社を設立	
	● 2009/02 ドイツ A. Berger社に初納入 ● 2007/09 中小型研削盤組立工場(南工場)落成 ● 2006/12 中部サテライト落成(名古屋営業所移転) ● 2000/03 内面研削盤開発	■ 2008 生産6000台到達 ■ 2001 生産5000台到達
2000	● 1998/04 ハイテクノロジーセンター落成 (ナノオーダーの加工精度を目指す)	■ 1994 生産4000台到達
1990	● 1989/02 米国 CATERPILLAR 社に初納入 ● 1988/06 米国にMICRON-U. S. A., INC. を設立 ● 1987/06 米国 AUTOCAM 社に初納入 ● 1980/08 日本電装株式会社(現:株式会社デンソー)に初納入	■ 1988 生産3000台到達 ■ 1980 生産2000台到達
	1980	● 1978/01 トヨタ自動車工業株式会社(現:トヨタ自動車株式会社)に初納入
1970	● 1968/05 社名をミクロン精密株式会社に変更 ● 1966/12 株式会社東洋ベアリング(現:NTN株式会社)、日本精工株式会社に初納入 ● 1963/04 株式会社不二越に初納入 ● 1961/10 中川精機製造株式会社として発足	■ 1969 生産1000台到達
	1960	● 1958/09 中川精機株式会社山形工場として創業

当社の製品で研削される加工事例



2010年11月実績 損益計算書(連結)



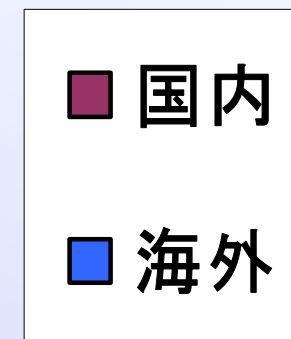
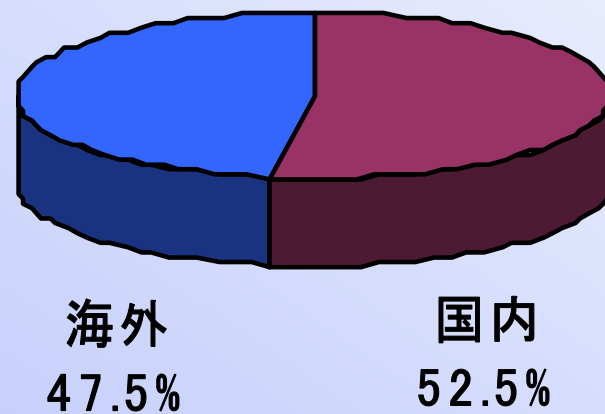
(百万円)

	2009年11月期 実績		2010年11月期 実績		前期 からの 伸び率
		百分比		百分比	
売上高	2,739	100.0 %	2,028	100.0%	-26.0 %
売上総利益	734	26.8 %	463	22.9 %	-36.9 %
販売費及び一般管理費	668	24.4 %	623	30.8 %	-6.6 %
営業利益又は営業損失(－)	66	2.4 %	-160	-7.9 %	－ %
経常利益又は経常損失(－)	87	3.2 %	-102	-5.1 %	－ %
当期純損失(－)	-38	-1.4 %	-106	-5.3 %	－ %
1株当たり配当金	20.00円		10.00円		

売上高につきましては、国内への営業活動の他に、需要の増加が見られる新興国をはじめとする海外への販売展開の強化を行ってまいりましたが、売上が翌期に繰越となった案件があったこと等から、20億2千8百万円(前年同期比26.0%減)となりました。販売費及び一般管理費につきましては、生産調整による、固定費をはじめとした経費の削減等を実施したことにより減少したものであります。経常利益の減少につきましては主に為替の変動による、為替差損と投資有価証券評価損(営業外費用)を計上したことにより、経常損失1億2百万円、当期純損失は1億6百万円となりました。

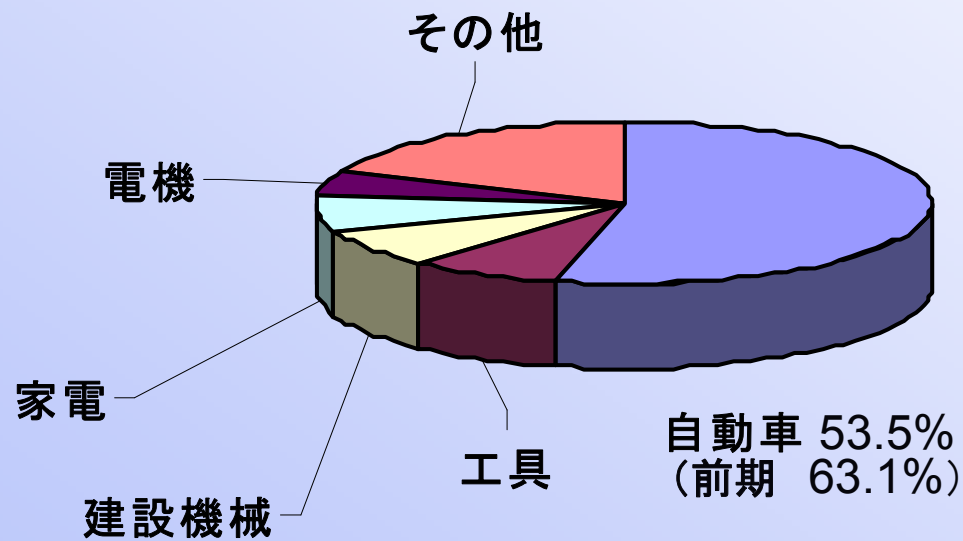
国内・海外売上比率

2010年11月期



業種別売上比率

2010年11月期



- 自動車
- 工具
- 建設機械
- 家電
- 電機
- その他

2010年11月期実績 品目別売上高(連結)



(百万円)

	2009年11月期 実績		2010年11月期 実績		前期からの 伸び率
	売上高	百分比	売上高	百分比	
心なし研削盤	2,027	74.0 %	1,373	67.7 %	-32.3 %
内面研削盤	368	13.5 %	220	10.9 %	-40.3 %
部品	296	10.8 %	393	19.4 %	32.8 %
その他	47	1.7 %	41	2.0 %	-12.9 %
合計	2,739	100.0 %	2,028	100.0 %	-26.0 %

新興国をはじめとした需要の増加が見られるものの、全体として受注の減少傾向が継続したことに加え、受注単価の低下もあったことから、心なし研削盤、内面研削盤ともに、前期より減少となりました。部品売上につきましては、新規設備投資をひかえた改造案件が増加したことにより前期を上まわりました。

2011年11月期業績予想 損益計算書(連結)



(百万円)

	2010年11月期実績			2011年11月期予想		
		百分比	前期からの伸び率		百分比	前期からの伸び率
売上高	2,028	100.0%	-26.0 %	3,461	100.0 %	70.7 %
売上総利益	463	22.9 %	-36.9 %	893	25.8 %	92.7 %
販売費及び一般管理費	623	30.8 %	-6.6 %	773	22.3 %	24.0 %
営業利益又は営業損失(-)	-160	-7.9 %	— %	120	3.5 %	— %
経常利益又は経常損失(-)	-102	-5.1 %	— %	207	6.0 %	— %
当期純利益又は当期純損失(-)	-106	-5.3 %	— %	206	6.0 %	— %

売上高につきましては、好調な新興国経済にけん引され、生産回復の兆しが見られるものの、円高による輸出への影響もあることから、全体として、設備投資はなおも抑制傾向が続くと思われまます。しかしながら、このような状況の中においても、国内外における省燃費化、環境対応のための需要が引き続きあることから、対前期比70.7%増の34億6千1百万円となる見込であります。営業利益につきましては、上述の売上高の増加に加え、コスト削減を継続することにより、1億2千万円を見込んでおります。経常利益につきましては、有価証券利息等の営業外収益を見込んでいることから2億7百万円、当期純利益は2億6百万円を見込んでおります。

2011年11月期業績予想 品目別売上高(連結)



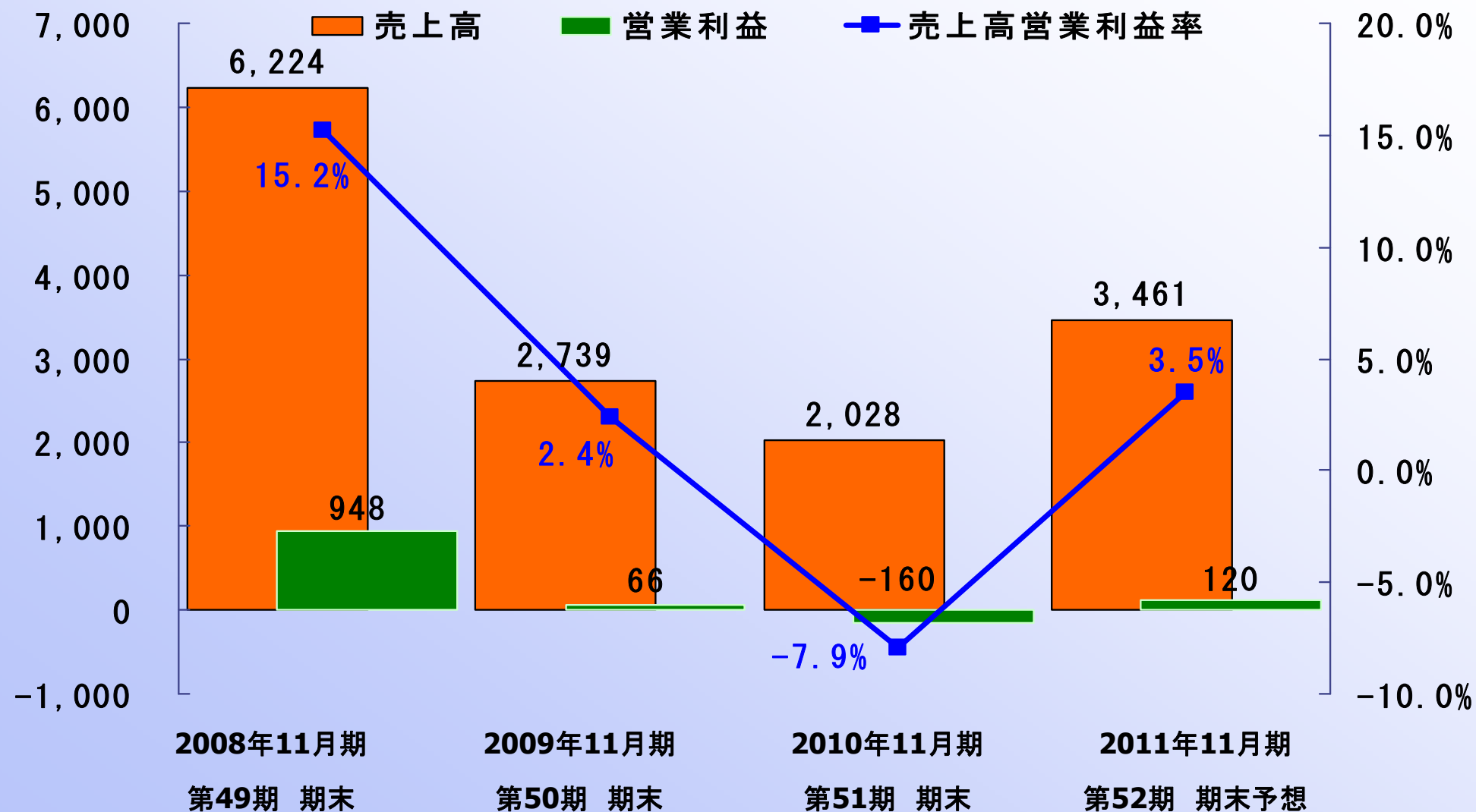
(百万円)

	2010年11月期実績			2011年11月期予想		
	売上高	百分比	前期からの伸び率	売上高	百分比	前期からの伸び率
心なし研削盤	1,373	67.7 %	-32.3 %	2,583	74.6 %	88.2 %
内面研削盤	220	10.9 %	-40.3 %	474	13.7 %	115.6 %
部品	393	19.4 %	32.8 %	363	10.5 %	-7.7 %
その他	41	2.0 %	-12.9 %	40	1.2 %	-1.9 %
合計	2,028	100.0 %	-26.0 %	3,461	100.0 %	70.7 %

好調な新興国経済にけん引され、生産回復の兆しが見られるため、心なし研削盤、内面研削盤とも、売上高の増加を見込んでおります。
 部品、その他につきましてはマイナスではあるものの、ほぼ横ばいと見込んでおります。

売上高の推移<通期>

(単位：百万円)



世界最高峰と社員の幸せを目指して

1. 強みを極める弛まざる研究開発
2. 新興国市場の開拓
3. 新規市場への参入
4. 人財育成

◆小型・高速脱着センターレス

MPC-250HP-CS

**最小限の非加工時間とする
ことを可能にした画期的小型
センターレス研削盤**

研削砥石台にクロススライドを
配することにより、非加工時間
の短縮を可能とした、まったく
新しい発想による研削盤。
非加工時間1.0secを実現。



強みを極める弛まざる研究開発

◆戦略機MFX-001

心なし研削盤 MEC-450

コストパフォーマンスに優れた戦略的中型機種
種々の解析、新設計による構造、加工の簡素化、部品点数の削減などにより、リーズナブルな価格のハイコストパフォーマンスの実現を図った、新たな“戦略的マシン”。



強みを極める弛まざる研究開発

◆高速オシレーション・多機能内面研削盤 (ものづくり中小企業製品開発支援)

内面研削盤 MIG-10Ui(Pi)

静圧主軸とリニアモータ駆動テーブルを搭載した革新的小型内面研削盤

リニアモータを採用することにより、高速オシレーションを実現。独立直交配置に構成されたテーブルで高精度位置決め制御をすることにより、あらゆるシート面にフレキシブルに対応。油静圧主軸を採用し、円筒内面及びシート面をサブミクロン精度で加工。



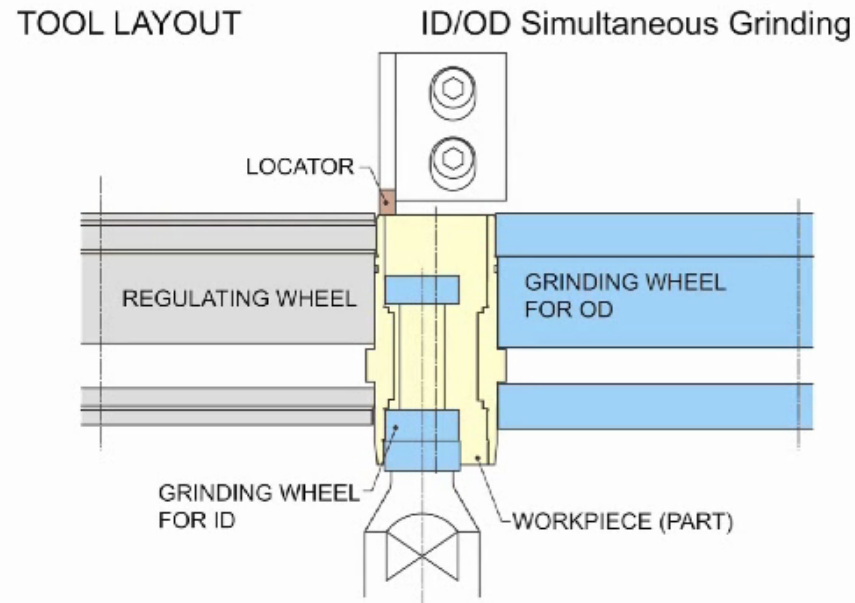
強みを極める弛まざる研究開発

内外径研削盤 MCG-500SIO

外周面、内周面の同時研削を実現した複合研削盤

心なし研削盤にサーボモータ切込式の内面研削装置を取付けることにより、加工物の外周面、及び内周面の同時研削を実現。

精度の向上、工程の短縮、加工コストの低減、機械設備費の低減、省スペースを実現。

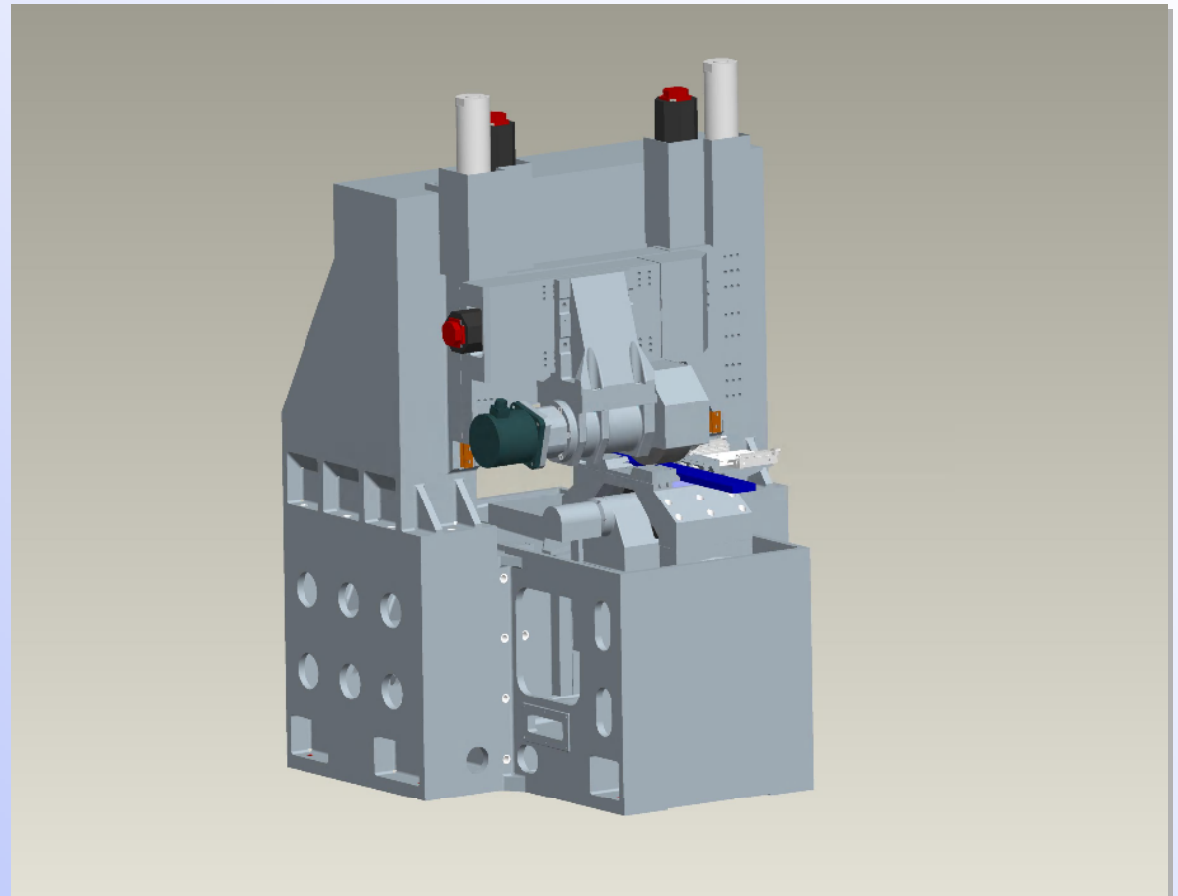


◆新発想平面研削盤

平面研削盤 MSG-450(仮称)

新しい発想による平面研削盤

これまでにない機構の採用により、インラインに対応可能な平面研削盤。
非磁性体の加工物でも容易に加工可能。
新たな市場の開拓。



◆ハイブリッド内面研削盤

- 複数の工程を1台に集約した新しい
内面加工機及び加工方法の開発
- サポイン『特定研究開発等計画』認定
- 要素技術の確立による横展開
- 2013年3月 製品化予定

◆球体のスルフィード研削盤

-やまがた産業夢未来基金採択

-精密球体のスルフィード研削による
高精度・高能率の研削工法及び研削盤開発

-新たな市場の開拓

-2011年夏 製品化予定

強みを極める弛まざる研究開発

～世界3大工作機械見本市に出展～

・日本のJIMTOF (日本国際工作機械見本市) に最新鋭機を出展

・出展企業22ヶ国、800社以上
入場者数11万人、アジア最大規模の見本市



- 世界一の中国自動車市場
- ローカルメーカーへの販路拡大
- ダウンサイジング化の展開
- 部品価格30%削減
- 新戦略機 MFX-002の開発

営業拠点の強化

2011年1月 タイ王国バンコクに合併会社設立

- ◆ 東南アジア市場の飛躍的な拡大に対応
- ◆ お客様の近くで地域に密着した販売体制を構築
- ◆ より付加価値の高い製品とサービスを提供

ものづくりは人づくり

ブラザーシスター制の導入
～技能・技術の伝承と鍛錬～



技術、知識の向上



生産能率向上
人柄の醸成



●将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

問い合わせ先 管理部

電話 : 023-688-8112

FAX : 023-688-8545

<http://www.micron-grinder.co.jp>